

関西病虫害研究会 第103回大会プログラム

日時：2021年6月10日（木）10:00～16:45

会場：オンライン配信（Zoom ウェビナー）

講演時間：1 課題 15 分（発表 12 分、質疑 3 分）＋交代時間

講演方法：PowerPoint 使用

時間	講演番号	タイトル	講演者	所属	座長
10:05	1	作物の栽培がネギ類黒腐菌核病菌の菌核生存率を低下させ黒腐菌核病被害も軽減させる	○伊代住浩幸・岡本直哉 *・高橋冬実・寺田彩華	静岡県農林技術研究所、*静岡県立農林大学校	窪田昌春
10:21	2	バジルベと病に対する亜リン酸肥料の被害軽減効果	○内橋嘉一・松本純一・岩本豊・川口藍乃・田中得久	兵庫県農林水産技術総合センター	
10:37	3	緑肥作物によるレタスビックベイン病発病抑制効果の検討	○川口藍乃・岩本豊・内橋嘉一・松本純一・神頭武嗣	兵庫県立農林水産技術総合センター	
10:53	4	愛知県と長野県の県境に自生するススキから分離された赤色系 <i>Fusarium</i> 属菌	外側正之	静岡県農林環境専門職大学	
11:10	5	京都府の露地栽培キュウリにおけるアブラムシ媒介性4種ウイルスの発生実態	○門馬悠介・栗田秀樹*・堀士弘*・北澤勝好・徳丸晋虫	京都府農林水産技術センター・*山城北農業改良普及センター	外側正之
11:26	6	2020年10～11月に茨城県つくば市に発生したキュウリ、メロン、ナスうどんこ病菌の殺菌剤耐性	○窪田昌春・竹山さわな	農研機構野菜花き研究部門	
11:42	7	資材上に付着するトマト褐色輪紋病菌の分生子数と資材消毒方法の検討	○小島一輝・渡辺秀樹	岐阜県農業技術センター	
11:58	8	露地栽培したコマツナ体内の土壌由来殺虫剤成分濃度の季節変動	○望月証・富原工弥	兵庫県立農林水産技術総合センター	
12:15～13:00 昼 食					
13:00～13:30 総 会					
13:30	9	宮崎県の露地栽培ゴマほ場におけるタバコカスミカメの発消長	○岡本雄太・中野亮平*1・安達鉄矢*2	宮崎大学大学院農学研究科・*宮崎大学大学院農学工学総合研究科・*2宮崎大学テニユアトラック推進機構	杖田浩二
13:46	10	京都府におけるカンザワハダニおよびナミハダニ黄緑型の雌成虫に対する薬剤殺虫効果	徳丸晋虫	京都府農林水産技術センター	

14:02	1 1	新規発生害虫ネギハモグリバエ B 系統の幼虫に対する薬剤殺虫効果	○中島優介・徳丸晋虫	京都府農林水産技術センター	
14:18	1 2	ビワキジラミ成虫に対する各種薬剤の殺虫効果	松山尚生	和歌山県果樹試験場	
14:35	1 3	農業害虫の薬剤抵抗性発達を抑制する生態的要因	森下正彦	和歌山県海南市	徳丸晋虫
14:51	1 4	マルチローター式無人航空機による薬剤散布時の飛行経路と散布粒径がカンキツ樹冠内における液滴の付着性に及ぼす影響	○増井伸一・村田裕行・土田祐大・加藤光弘・小林泉*・猪俣敏一*	静岡県農林技術研究所果樹研究センター・*株式会社アークステーション	
15:07	1 5	産業用マルチローターを用いたダイズに対する農薬散布時の落下分散の特徴とカメムシ類の防除効果	○田中千晴・佐々木彩乃・石田哲大*・味上友宏*・西野実	三重県農業研究所・*株式会社 FLIGHTS	
15:23	1 6	赤色灯によるミナミキイロアザミウマの誘引抑制効果	山本みずき・○上田昇平*・平井規央*	大阪府立大学生命環境学域・*大阪府立大学大学院生命環境科学研究科	
15:40	1 7	京都府におけるニンジンの葉を加害するアザミウマ類の種構成と加害時期	○片山宥美・檜垣誠司・徳丸晋虫*	京都府南丹農業改良普及センター・*京都府農林水産技術センター	田中千晴
15:56	1 8	奈良県のイチゴで発生するアザミウマ 2 種に対する各種殺虫剤の殺虫効果	○山口貴大・小林甫*・藤田奈都*	奈良県農業研究開発センター・*北部農林振興事務所	
16:12	1 9	大阪府における各種作物に発生したオンブバッタ属 2 種の構成比と外来種アカハネオンブバッタに対する薬剤の殺虫効果	○城塚可奈子・金子修治	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	
16:28	2 0	有機 JAS 圃場におけるバッタ類の寄主選好性と微生物資材による防除効果	○福田泰子・上山博・鷺田治彦	株式会社オーガニック nico	

○講演に関するお問い合わせ

岐阜県農業技術センター病理昆虫部

担当：渡辺秀樹、鈴木俊郎、杖田浩二

TEL：058-239-3135

E-mail：kanbyo2021@gmail.com